

大人のための北東北エリアマガジン ラ・クラ 特別編集

ra ら kra × 平川

青森県平川市

HIRAKAWA TRAVEL

GUIDE BOOK

TAKE FREE

とつておきの
平川を探しに行こう

尾上・平賀・碓ヶ関

国指定名勝 清藤氏書院庭園



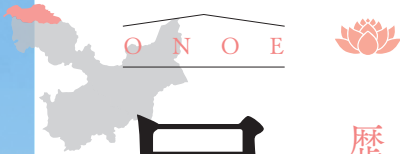
「盛美園」に隣接する庭園。清藤氏の歴史は古く、鎌倉時代まで遡る。書院庭園は江戸時代末期の作庭で、津軽地方に見られる大石武学流の源流といわれる。母屋は明治初期に建築されたもの。



● 平川市猿賀石林1 ● TEL 0172-57-2127
● 開園時間／9:00～17:00(事前問い合わせ)
● 休園日／不定休
● 入園料／大人300円、高校・大学生200円、小中学生100円
MAP A2



■ QRコードに、QR読み取り機能付きスマートフォンをかざすと掲載スポットの動画が見られます。



尾上



歴史と風情に出会える尾上散歩

市内でもとりわけ名所が多い尾上地区。和洋折衷の館がシンボルの盛美園に、津軽の庭文化の源である清藤氏書院庭園、1000年以上続く猿賀神社など、見どころ満載だ。

国指定名勝 盛美園

ジブリ映画「借りぐらしのアリエッティ」の舞台の参考になったといわれている庭園。園内の一角には「盛美館」という、1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷の建物があり、庭園と融合した独特の美しさがある。

● 平川市猿賀石林1 MAP A1
● TEL 0172-57-2020
● 開園時間／4月中旬～9月9:00～17:00、10月～11月中旬9:00～16:30、11月下旬～4月上旬10:00～15:00(冬季は予約制、(一社)平川市観光協会まで TEL0172-40-2231)
● 休園日／年末年始 ● 入園料／大人500円、中学生330円、小学生220円 ※冬季入園料／大人250円、中学生170円、小学生110円
※御宝殿は保存のため、入園時間内30分ごとに1回3分のペースで公開



#盛美園 #盛美館



#津軽の桃



#猿賀公園ライトアップ #平川さくらまつり



#ひらかわイルミネーションプロムナード



#平川のりんご



#鳥居の鬼コ



#HIRAKAWAスタンド

1 平川市は市町村別のりんご生産量が全国4位の一大産地。2 「平川さくらまつり」では、「猿賀公園」の夜桜が美しくライトアップされる。3 明治文化の面影をしのげる春の「盛美館」。4 津軽に根付く鬼信仰。「三社神社」の鳥居にも鬼が鎮座。5 平川市と友好交流協定を結んでいる台湾・台中市の提灯やイルミネーションが市役所・中央公園を彩る。6 りんごの栽培技術を活かして作られる「津軽の桃」。

和洋折衷の不思議な建物や桜と蓮が美しい神社、山の奥に湧く秘湯。夏には巨大な扇ねぶたが運行し、冬はイルミネーションが煌めく。ここにはみんなに教えたくないとっておきがあります。

平川市

やっぱりここだね、



歴代の領主が崇拝
津軽のパワースポット



あかい堂(水天宮)

拝殿の東側にある「あかい堂(水天宮)」。龍神・水波能女神を祀り、社の裏側を覗くと龍頭(りゅうどう)から水が流れる。軒下から2体の見事な木彫りの大蛇が参拝者を見守っている。

四季の蔵もてなしロマン館



● 平川市猿賀石林10-1 ● TEL 0172-43-5610
● 営業時間 / 9:00 ~ 17:00 (10月~3月16:30まで) ● 定休日 / 年末年始 **MAP A6**

盛美園に隣接するショップ & レストラン。地元の新鮮な野菜や加工品、お土産なども充実する。施設内にある「レストランけやき」では地元食材で美しく彩られた土日限定の「花懷石御膳」やラーメン研究家の石山勇人氏が監修した「津軽煮干しラーメン」など、ここでしか味わえない料理が人気を集めている。

さるか茶房

平川市観光協会に併設されている「さるか茶房」。ここで注文したいのが、猿賀の「猿」にちなんだドリンク「バナナジュース」。砂糖を一切使用しておらず、バナナ本来の甘さと濃厚な風味が味わえると好評。



「バナナジュース(500円)」は子どもにも人気。
● 平川市猿賀石林94
(一社) 平川市観光協会内
● TEL 0172-40-2231
● 営業時間 / 9:00 ~ 16:30
11:00 ~ 16:00 (12月~3月上旬まで)
● 定休日 / 年末年始
※12月~3月上旬は火曜定休 **MAP A5**
コーヒーやお菓子なども販売。散策途中に立ち寄りたい。

猿賀神社

坂上田村麻呂が上毛野君田道命を祀り建立。藩政時代には津軽為信の祈願所となり、農漁業、交通、眼の守護神として崇拝される。本殿は県の重要文化財に指定されている。また、桜と蓮の名所として知られ、拝殿から「胸肩神社」に向かう鏡ヶ池は7月下旬になると一面、蓮の花に覆われる。

● 平川市猿賀石林175
● TEL 0172-57-2016
MAP A4



「バナナジュース(500円)」は子どもにも人気。



↑ 鏡ヶ池の蓮は、午前中が見頃

「猿賀神社」は初夏になると蓮の名所となる。「鏡ヶ池」を覆うように蓮の葉が生い茂り、その間からピンク色の花が姿を見せる。早朝から咲き始め、昼過ぎには閉じてしまうので、お出かけの際は早目に。毎年7月下旬には「平川市蓮の花まつり」を開催。

※「平川市蓮の花まつり」の問い合わせ
(一社) 平川市観光協会 TEL 0172-40-2231

鮮やかな和蓮に包まれる
フォトジェニックな世界

「猿賀神社」の信仰の中心となっている「鏡ヶ池」。中島周辺は散供占いの霊場であり、伝説によると津軽二代藩主・津軽信牧が霊夢によってつくったといわれている。

● 平川市猿賀石林地内
● 問い合わせ /
(一社) 平川市観光協会
TEL 0172-40-2231



MAP A3



鏡ヶ池

猿賀公園

「猿賀神社」に隣接する公園。春には神池である鏡ヶ池、見晴ヶ池を取り囲む約330本の桜が咲き誇る。



見晴ヶ池

尾上のカフェでひと休み



「4種のチーズをブレンドした濃厚プレミアムチーズバーガー」1,605円。
「自家製ジンジャー」単品495円。全て税込。

青森県産牛のパーティ プレミアムな味を堪能

ユイット デュボワ



青森県産牛のパーティを炭火焼きし、国産野菜を挟んだプレミアムバーガーが評判。4種のチーズを使った「濃厚プレミアムチーズバーガー」は、味わい深いひと皿。「自家製ジンジャー」と共にどうぞ。

ひとりでもゆっくりと
過ごせるカウンター席。 ● 平川市八幡崎松枝42-1 ● TEL 0172-40-2838
● 営業時間／11:00～15:00 L.O.14:30
● 定休日／金曜 **MAP A9**

お腹と心を満たす カフェタイム ふわふわの



白金珈琲 (プラチナコーヒー) **MAP A8**

30種類以上のコーヒー豆などを販売。「平川ブレンドりんごの花」は調和のとれた味で、おみやげにも最適。県内唯一のSlayer Espresso社のエスプレッソマシンで淹れたカフェラテやエスプレッソも絶品。

● 平川市日沼樋田2-1 ● TEL 0172-55-0938
● 営業時間／9:00～17:00(変更あり) ● 定休日／不定休



1 コーヒーの香りが漂う店内。 2 「平川ブレンドりんごの花」は100グラム・650円。
3 「Drip Based (400円)」でゆっくりと。全て税込。

定番寄り道ス 平川ブレンド でひと息

2024年に津軽尾上駅近くにオープンした素敵なカフェ。平川をPRするキャラクター「平カワ子」をパッケージにした「平カワ子プリン」はビターなソースがアクセント。ジャンルにとらわれない食事メニューも豊富で、大きめのエビやマッシュルームなどが入る「トムヤムクンチャーハン」はオーガニックのココナッツオイルを使用するなど、料理好きだという店主のこだわりを感じさせる一品だ。



1 「平カワ子プリン (300円)」と平カワ子プリンを使用した「プリンラテ (500円)」 2 ココナッツオイル使用の「トムヤムクンチャーハン (900円・単品)」。
● 平川市中佐渡南田14-1 ● TEL／なし
● 営業時間／11:30～18:30
● 定休日／不定休 **MAP A10**

農村に花開いた蔵と庭園、生け垣文化を今に伝える

昔から造園を生業にする人たちが多かった尾上エリア。道路沿いにはサワラの生け垣が続き、さわやかなサワラの香りがすることも。全国でも珍しい「平川市の生け垣を守り育てる条例」が制定され、保存に力を入れている。



一度は訪れたい 一夜限りのイベント

農家蔵ライトアップ

金屋地区は、国登録有形文化財「農家蔵」と農家庭園が現存し、後世へ残すべき建造物・文化遺産として全国から高い評価を得ている。毎年1月下旬には一夜限りのライトアップを開催。雪と行灯の幻想的な光景は一見の価値あり。

● 平川市金屋中松元
問い合わせ／NPO法人尾上蔵保存利活用促進会
(TEL 0172-88-5039)
MAP A7

蔵を彩る職人の技

かつては財力の象徴だった農家蔵。壁面に残る立体的で美しい模様は「コテ絵」と呼ばれるもの。鶴や菖蒲、唐草など、蔵によって違う装飾を見つけるのも面白い。



生け垣が続く小路

猿賀神社近くに「リヤカーけんど」と呼ばれる小路がある。「けんど」とは津軽弁で道路のこと。「新日本歩く道紀行の歩いておきたい1000の道」のひとつ「生垣と庭園散策コース」に選ばれている。

● 平川市 猿賀神社付近

道マニア も訪れる リヤカー けんど



碓ヶ関の観光拠点「道の駅いかりがせき」



関所資料館

津軽藩初代藩主津軽為信は交通の要衝だった碓ヶ関に関所を設置。「関所資料館」では当時の取り調べの様子が再現されているほか、古文書や鎧などの武具も展示され、江戸時代気分に入ることができる。

- 開館時間／9:00～17:00
- 入館料／無料
- 休館日／年末年始

MAP B1



関の庄温泉御飯屋御殿

道の駅の裏手にある温泉施設。気軽に入れる足湯（冬季閉鎖）や青森ヒバの香りに包まれる大浴場、さらには贅沢にも貸切で堪能できる「殿様風呂」などがあり、津軽の殿様が惚れ込んだ湯が疲れを癒やしてくれる。



- 営業時間／10:00～20:00（最終入館19:30）
- 入浴料／400円、殿様風呂1時間1,500円
- 泉質／低張性弱アルカリ性温泉
- 効能／神経痛、筋肉痛、関節痛

MAP B1

ikarigaseki
立ち寄り
グルメ

道の駅いかりがせき「竹っ子庵」&「お食事処彩里」



碓ヶ関ならではのスイーツ 「マルメロパイ」

マルメロは爽やかな香りが特徴の果実。サクサクの生地とシロップ漬けのマルメロ、カスタードクリームの相性がバッチリのできた「マルメロパイ（200円）」は、ここでしか味わえないスイーツだ。

道の駅いかりがせき といえばコレ！ 「自然薯たこ焼き」

碓ヶ関特産の自然薯を練り込んだ「竹っ子庵」のたこ焼き。自然薯らしいモチモチ弾力のある生地がクセになる、道の駅で人気の一品。定番の「ソースたこ焼き（500円）」のほか、「明太マヨたこ焼き（600円）」など味の種類も豊富。

上品な甘さが持ち味の 「津軽の桃ソフトクリーム」

散策やドライブの途中に味わうご当地ソフトクリームは格別。「お食事処彩里」の「津軽の桃ソフトクリーム」（350円）は、桃好きならずとも惹かれる魅力的なスイーツ。平川市の桃農家のこだわりが詰まった「津軽の桃」をたっぷり使い、香りと風味が存分に感じられる。



ご当地の魅力が詰まった 「野菜カレー」

道の駅内にある「お食事処彩里」の人気 No.1メニューが「野菜カレー（1,100円）」。「素揚げされた色とりどりの新鮮な野菜がたっぷりと入り、マルメロを使用したスパイシーで甘酸っぱいルーが食欲をそそる。



道の駅 いかりがせき

関所資料館をはじめ、温泉、食事処、農産物直売所、おみやげ店などが揃う。

- 平川市碓ヶ関碓石13-1
- TEL 0172-49-5020
- 営業時間／9:00～18:00
- 休館日／年末年始

MAP B1



IKARIGASEKI

碓ヶ関



江戸時代の面影が残るまち

かつて、秋田と津軽を結ぶ羽州街道の要の地として栄えた碓ヶ関。道の駅に隣接する碓ヶ関御関所では、江戸時代の雰囲気を感じることができる。

碓ヶ関御関所 高麗門

江戸時代、津軽街道と羽州街道が交わる碓ヶ関には関所が設けられていた。津軽藩の玄関口であることから警備は厳重で「箱根の関所も及ばない」といわれるほどだった。道の駅いかりがせきにある「高麗門」は当時の姿を再現している。

MAP B1



津軽平野と岩木山を一望 最高のビュースポット



平川のりんご

りんごの生産量が多い平川市で最も栽培が盛んな平賀地区。品評会では最高賞を連続受賞するほどで、高品質のりんごを生み出している。市街地から山沿いまで、市内のいたるところでりんご畑を目にすることができる。

雪のように白い岩肌凝灰岩の美を堪能する



白岩森林公園 MAP B3

真っ白い岩肌と緑の木々や青い空とのコントラストが美しく、神秘的な「白岩森林公園」。展望台まで草花や森林浴を楽しみながらトレッキングができる遊歩道もあり、アウトドアにおすすめ。



- 平川市尾崎黒倉沢1-1
- 開園期間／4月中旬～11月中旬
- 問い合わせ／白岩森林公園管理棟
TEL 0172-44-2611

フルーツもはずせない！ 駅前で人気の定食屋さん「櫻屋」

平賀駅からほど近い場所にある「櫻屋」。昼時の賑わいの中、多くの人が注文するのが「からあげ定食（800円）」。アツアツでサクサクとした唐揚げにご飯が進み、かけそばがついてくるボリュームも嬉しい。季節のフルーツと生クリームたっぷりの「フルーツサンド（400円）」はテイクアウトにピッタリだ。

フルーツもクリームもあふれてきそうな「フルーツサンド」



サクサク食感がたまらない「唐揚げ定食」

MAP A4
立ち寄りグルメ

● 平川市本町北柳田8-36駅前パレス ● TEL 0172-44-6162 ● 営業時間／11:00～14:00、18:00～22:00 ● 定休日／日曜 MAP B4



すてきな洋館もあり、
フォトジェニックな空間となっている。

H I R A K A

平賀

岩木山を望む津軽平野、
珍しい白い岩肌、広大なりんご畑。
平川市まで来なければ
見られない自然風景である。

GARDEN 大きなくりの 木の下で

地域を見守ってきた樹齢500年を超えるくりの木と、花鳥風月をテーマにしたガーデン。春の菜の花、初夏のバラ、アジサイ、ラベンダー、秋のコスモス、ダリアと季節の花が咲き、目も心も楽しませてくれる。カフェスペースでは、ゆったりとしたティータイムが過ごせる。

- 平川市町居山元314
- TEL 0172-88-5529
(開園時間のみ)
- 開園期間／4月～10月
※台風等気象条件により開園・休業する場合あり。8月の営業日のについてはHP要確認
- 開園時間／10:00～16:00
- 入園料は500円(トップシーズンの6月のみ700円)
- <https://www.garden-osawa.com>

MAP B2



訪
れ
た
く
な
る
平
川
市
の
メ
イ
ン
エ
リ
ア

Delicious!

3 三笠食堂の「酸辣湯麺」

自家製ラー油の
こだわりスープが命

碗ヶ関で愛されている老舗食堂。三笠食堂名物の自然薯チャーシューが載った「酸辣湯麺」は、1年の試行錯誤を経てたどりついたスープが自慢。ラー油から手づくりで同業者が研究のために食べに来るほど。ツンとしていないやさしい酸味で、野菜がたっぷりなのも嬉しい一杯だ。

- 平川市碗ヶ関71 ● TEL 0172-45-2503
- 営業時間／11:00～19:00
- 定休日／日曜 **MAP B7**



おいしさが滲むような味のある雰囲気。 麺類から定食までメニューは豊富。



まろやかな酸味がたまらない
「自然薯酸辣湯麺(850円)」。



昔ながらのあっさりとした
「味噌ラーメン(780円)」。

4 風の谷の「味噌ラーメン」

アクアリウムの世界で食事を

店内にずらりと並ぶ熱帯魚の水槽と観葉植物。アクアリウムの雰囲気の中で食事を楽しめる。看板メニューの「味噌ラーメン」は生姜と味噌の風味が効いたスープで、最後の一滴まで飲み干してしまいそうなおいしさ。このほか、店名の「風の谷」にちなんだ「ナウシカラーメン」も人気だ。

- 平川市館山上扇田16-10
- TEL 0172-44-8839
- 営業時間／11:00～14:30 (LO)、17:00～20:00 (LO)
- 定休日／不定休 **MAP B8**



熱帯魚店と軽食喫茶からスタートし、いまはラーメンも有名に。 明かりを抑えたなか、ゆったりと泳ぐ熱帯魚は幻想的。

食べたい！平川ラーメン

国産食材と
無化調にこだわる

店主のラーメンに対するひたむきなこだわりが感じられるラーメン。スープは、豚ガラと鶏ガラをじっくり煮込み、6種類の煮干しと3種類の厚切り節（本枯節・宗田節・鯖節）で出汁をとったもの。これに3種類の丸大豆醤油をブレンドし、あっさりとした醤油味の奥に煮干しの風味もしっかりと感じられる。



テーブルの間が広めに取られているので、ゆったりと寛げる。



店は県道13号線沿いにあり、市内外からお客が訪れる。



1 麵処中むらの「醤油拉麺」

大きな自家製チャーシューと海苔がのった「醤油拉麺(790円)」。

- 平川市柏木町東田313-3
- 営業時間／11:00～14:30、土曜11:00～14:30・17:30～20:00
- 定休日／月曜（祝日の場合は翌日休み） **MAP B5**



煮干し好きにはたまらない
「中華そば(800円)」。

2 味助の「中華そば」

ポイントは濃厚煮干しスープ！

創業30年、赤いのが目印の食堂。「中華そば」のスープに特徴があり、濃いめの煮干し出汁で、この味にハマる人が続出とか。それに合わせる麺は細いちぢれ麺。肩ロースのチャーシューは食べ応えたっぷりで、噛むたびに旨味が口の中に広がる。焼きそばも人気！

- 平川市高木原富209 ● TEL 0172-57-5733
- 営業時間／10:30～14:00 (LO) ● 定休日／月・火曜 **MAP B6**

「やきそば」や「ナポリタン」のテイクアウトもおすすめ。



店内には中華そばのスープの香りが漂い、食欲がそそられる。

牛サガリすき焼き

やきとり 元。

- 平川市本町北柳田21-7
- TEL 0172-44-9123
- 営業時間／17:00～23:00
- 定休日／不定休

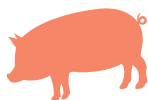
MAP C4



めん処 味の香園

- 平川市尾上栄松32-1
- TEL 0172-57-2145
- 営業時間／11:00～17:00
(火・日曜は16:00まで)
- 定休日／水曜

MAP C5



サガリ弁当

自分で焼くのもいいけれど、焼き肉のプロが焼いた味を持ち帰れるのが焼肉弁当。「太ら福」の人気メニューが「平川サガリ弁当(950円)」。炭火焼きの香ばしさと祖父から引き継いだ伝統のタレにご飯が進む。「紀文」では「牛サガリ弁当(950円)」と「豚サガリ弁当(850円)」を提供している。関東で焼肉店を営んでいたという、肉を知り尽くした店主のつくる味は間違いなしだ。

ほかほかジューシー
プロが焼く味をお持ち帰り



太ら福

- 平川市新屋町道ノ下37-7
- TEL 070-1146-0511
- 営業時間／10:00～14:00、17:00～19:00
- 定休日／水曜

MAP C6



紀文

- 平川市柏木町藤山40-8
- TEL 0172-88-5606
- 営業時間／10:30～18:00
(土・日曜は17:00まで)
- 定休日／月曜

MAP C7

meat soul

- 平川市松崎亀井45-1
- TEL 0172-44-8885
- 営業時間／11:00～18:30、日曜・祝日9:00～17:00
- 定休日／月曜、隔週火曜

MAP C8



焼鳥ひろ

- 平川市中佐度南田18-19
- TEL 080-4514-7657
- 営業時間／16:00～20:00
※電話予約9:00～19:30
- 定休日／日曜、祝日

MAP C9



平川は 焼鳥もうまい

地元のみならず市外にもファンが多いテイクアウト専門の焼鳥店。「焼鳥ひろ」では手羽、皮のほか季節の野菜を使った串も。「meat soul」は精肉も扱っているだけあって種類も豊富だ。



サガリグルメ

焼き肉だけじゃない
サガリを使った新定番!?

市内には平川サガリを使用したグルメも点在。平賀駅前にある居酒屋「やきとり元。」で提供されるのは「牛サガリすき焼き(要予約)」。鍋の中心で焼いて食べてもよし、野菜と一緒に少し煮込んで食べてもよしの贅沢な一品。「めん処 味の香園」で楽しめるのは「サガリ中華(900円)」。チャーシューのようにじっくり煮込まれた豚サガリがピリ辛のスープとマッチ。サガリグルメを食べ歩くのもおすすめだ。

ひらかわの

にくぐ!



焼肉 ホープ

「平川さがりセット(800円)」なら
牛サガリ、豚サガリの食べ比べ可能。

- 平川市本町南柳田40-6かどのビル1F
- TEL 0172-88-8029
- 営業時間／17:00～22:00 (L.O.)
- 定休日／日曜

MAP C3



肉の豚金・葛西精肉店

MAP C2

- 肉の豚金 ● 平川市本町北柳田11-17 ● TEL 0172-44-2035
- 水木精肉店 ● 平川市町居南田79-1 ● TEL 0172-44-2566



水木精肉店

MAP C1

「肉の豚金」と「水木精肉店」は平川サガリを提供する精肉店。迷ったら両方で買おう。

平川市民に愛されているサガリ。家族や仲間との団らんのご馳走だ。最近では市外から買い求めに来る人も多く、今やサガリは平川名物の代表格。おうちで、お店で、アレンジしたグルメで、平川サガリをご賞味あれ。

名物の平川サガリ

合言葉は「にくぐるが!」

「にくぐるが」という津軽人には聞き馴染みのある言葉。訳すと「焼き肉にしよう」という意味だ。けどBBQとは少し違う。自宅の軒先や車庫なんかで、家族や友人らと炭火のグリルを囲む。網に上がるのはホルモンやサガリだ。弘前周辺のエリアではホルモンを食べる文化が根付くが、平川市民の定番はサガリ。横隔膜周辺の部位のサガリはあっさりとした味わい。市内の精肉店でキロ単位で購入し、炭火で豪快に焼くのが平川スタイル。近年は「平川サガリ研究会」が中心となって独自の焼肉文化を盛り上げる。平川サガリを気軽に味わえるよう、水木精肉店直営の「焼肉ホープ」が誕生するなど、平川では「にくぐ」がアツいのだ。



フルーツが
輝く一皿

大光寺カフェ

DAIKOUJI
CAFE

親しまれた温泉がカフェに 素敵空間でスイーツタイムを

「大光寺カフェ」は地域に親しまれていた大光寺温泉をリノベーションして誕生したカフェ。木の温もりに包まれた店内には、カランやタイルなど公衆浴場だった時の名残が散りばめられている。クレープやパフェ、かき氷と季節のフルーツを使った至福のスイーツやパスタなどの食事を楽しむ。また焼き菓子やケーキなどのテイクアウトメニューも充実。趣のあるロケーションで、心も満たされる甘いひとときを過ごしてみては。

▲看板メニューの「フリュイ(1,080円)」。モチモチ生地の上にたっぷり載ったフルーツは時期で変わるので、季節ごとに訪れたい。

◀温泉とカフェの雰囲気が絶妙にマッチした空間に、つい長居したくなる。

● 平川市大光寺一滝本112-1 ● TEL なし
● 営業時間/11:00~19:00
● 定休日/木曜 **MAP D1**



菓子処 西谷

KASHIDOKORO
NISIYA

伝統の銘菓から流行りの洋菓子まで 進化し続ける尾上の銘店

尾上地区に店を構える「菓子処 西谷」。「桃のロールケーキ」は、果肉はもちろん、生地とクリームにまで桃づくしの、平川の名産「津軽の桃」にこだわったケーキ。さらに、猿賀神社の蓮根を使った「蓮根羊羹」は、地元の伝統を感じさせる一品として長年愛されている。職人歴40年以上の大ベテランでありながら、今でも数ヶ月に一度は東京へ赴いて味の探求を続ける店主が生む平川スイーツから目が離せない。

● 平川市尾上栄松61-2 ● TEL 0172-57-2240
● 営業時間/8:00~19:00 ● 定休日/不定休 **MAP D2**



桃感がぎゅー!



スフレ生地がシュワシュワとした食感の「桃のロールケーキ(250円)」。手軽な個包装のラップもあるのが嬉しい。



尾上の銘菓といえば「蓮根羊羹(950円)」。猿賀神社の鏡ヶ池に自生する蓮根を使用している50年以上続く人気商品。



平川のスイーツを訪ねて

魅力的なスイーツがある平川。フルーツの産地を象徴するかのごとく、りんごやももを活かした甘味や、パティスリーが手掛けるトレンドの味、どこか懐かしさを感じる銘菓まで盛りだくさん。お気に入りの平川スイーツを探しに行こう。



Carefully selected HIRAKAWA's Sweets

甘泉堂 ももさわ菓子舗

MOMOSAWA
KASHIHO

平川愛が溢れる老舗で 手土産にも嬉しい一品を

110年以上の歴史を持つ「ももさわ菓子舗」は、職人技を感じる上生菓子からセンスのあるケーキや焼き菓子まで、何でもそろそろ老舗。オリジナル商品も多く取り揃え、名物のどら焼き「わさもどら」は定番のあんこのほか「抹茶の生チョコどら焼き」も人気。地元の学生とのコラボ商品や、平川の食材をふんだんに使用した商品開発にも積極的で、平川愛を感じさせてくれる手土産に出会えること間違いなしだ。

● 平川市本町北柳田16-1
● TEL 0172-44-2015
● 営業時間/9:30~18:30
● 定休日/第1水曜 **MAP C10**



ザクザクと
甘酸っぱさが
たまらない!



県産の紅玉と地元産の卵のカスタードをクロワッサン生地で包んだ「青ボム(324円)」。要望すれば温めてくれるので、買った直後からザクザク食感を味わえる。



津軽弁で「私にもちょうどいい」という意味の「わさもどら」。「抹茶の生チョコどら焼き(297円)」は抹茶の深い味わいを感じられる一品。

シヨケーキに釘付けになってしまいうなほど、和洋さまざまな菓子が並ぶ。

3 職人技が光る一品で一杯 MAP D5 寿司 寿し処 魚河岸

職人歴40年の店主が日利きした新鮮な魚介と一品料理が自慢で、地元客も晩酌に訪れる名店。自家製の「いかの塩辛」はテイクアウトも可能。1,000円から楽しめるお得なランチも魅力的だ。

- ◎ 平川市平川市尾上栄松17-1
- ◎ TEL 0172-57-2015
- ◎ 営業時間／11:30～14:00、17:00～22:00
- ◎ 定休日／水曜

昼は手頃楽しめるランチの提供もあり。



共に自家製の「いかの塩辛（500円）」と「しめ鯖（600円）」は日本酒にぴったり。



平川の味

今宵は平川で一杯！

酒と料理は旅の楽しみのひとつ。夜の帳が下りた街でふらり暖簾をくぐれば、きっと素敵な出会いが待っている。平川の酒場で思い出になる一杯を。



4 平川の夜に酔いしれたらメはバーガーで MAP D6 BAR DINING BAR SESSION

市内で唯一、本格的なハンバーガーを提供しているダイニングバー。ジューシーなパティは食べ応え満点。マスターがセレクトしたウィスキーのラインナップも魅力的で、気分に合わせて一杯を提案してくれる。

- ◎ 平川市本町北柳田 ◎ TEL090-6221-5655
- ◎ 営業時間／21:00～3:00 ◎ 定休日／日曜

★「セッションバーガー（単品1,200円、ポテト・ピクルス添えのセット1,500円）」。ハンバーガーメニューはテイクアウトも可能。

バーカウンターに並ぶボトルからはマスターの知識の深さうかがえる。



1 幅広い世代に愛される地元の居酒屋 MAP D3 居酒屋 居酒屋 香

1人から宴会まで、幅広いニーズに 대응してくれる平川一大きな居酒屋。ツマミの一皿や鍋物、焼鳥などの居酒屋の定番からスイーツやナポリタンまで幅広く揃える。黒板に記された本日のオススメメニューも見逃せない。

- ◎ 平川市柏木町藤山15-2スペースビル1F
- ◎ TEL 0172-40-3785
- ◎ 営業時間／17:00～22:00 ◎ 定休日／月曜

★食事に、メに、多くの人が注文する「ナポリタン（600円）」は人気メニュー。

カウンターと座敷を備えた広々とした店内。



平川の夜を真っ赤に彩るトマトのカクテル

Hirakawa Premium Red Eye 平川プレミアムレッドアイ

平川市産の高品質なミニトマトで作った特製トマトジュースとビールを1対1で割った爽やかなカクテル

2品種のトマトをブレンドした無添加・無香料、水も食塩も香料も不使用の「プレミアムトマトジュース」を使用したカクテル、「平川プレミアムレッドアイ」。トマトの甘みとビールの苦味が絶妙にマッチした平川ならではのカクテルだ。地元の素材を活かした一杯として注目を集め、市内の飲食店で飲むことができる。



2 市場から仕入れる食材。メニューは100種類！ 和食 かんちゃん MAP D4

「自分が通いたくなるような店を目指している」という店主。メニューは約100種類を数え、特に魚介料理に人気があり、「お刺身盛り合わせ」は味もボリュームも納得のいくもの。週末は予約を取ってからの来店がおすすめ。

- ◎ 平川市本町北柳田126-6
- ◎ TEL 0172-44-3607
- ◎ 営業時間／17:00～22:00頃
- ◎ 定休日／第2・4・5日曜 ※連休時は月曜休

壁いっぱい貼られたお品書き。どれもおいしいので迷いそう。



「刺身盛り合わせ」は1人前1,800円。写真は2人前。



フォトジェニックな改札口

弘南鉄道 津軽尾上駅

尾上散策のスタートはこの駅から。駅舎の外観は猿賀神社の社殿をイメージして建てられたという。改札口は往時の様子を想起させるような佇まいを残し、全国から駅舎ファンが訪れるというのも納得。

◎ 平川市中佐渡南田 ◎ TEL 0172-57-3400

HIRAKAWA レトロなまちかど

今と昔が交差する平川では、
そこかしこに昔の面影が残っている。



CMのロケ地になった駅

JR奥羽本線 碓ヶ関駅 MAP D7

明治28年(1895)に開業し、現在の駅舎は昭和時代に建てられたJR東日本のCMにも登場したレトロな駅。駅前にもノスタルジックな風景が広がり、ついのんびりしたくなる。「碓ヶ関御関所」と「道の駅いかりがせき」に隣接し、散歩コースとしてもおすすめ。

◎ 平川市碓ヶ関高田



津軽尾上駅前にある温泉銭湯



大和温泉 MAP D8

浴場のアーチを描いた天井やカラン、自動肩たたき機など、昭和レトロの雰囲気を感じさせる温泉銭湯。地域の人たちに愛されている「美人の湯」は加水加温なしの源泉掛け流し。手ぶらで入浴サービス(650円・入浴料込)もあり。

◎ 平川市中佐渡南田1-2 ◎ TEL 0172-57-2852
◎ 営業時間 / 7:00 ~ 22:00 ◎ 定休日 / 毎月1日・15日
◎ 入浴料金 / 大人400円、高校生以下150円、6歳未満60円



県外客も多いまちの食堂 MAP D9



かなや食堂

蔵の建ち並ぶ金屋地区でまちの食堂として約40年。昔ながらの佇まいを残す店内は心地よく、女性ひとりでも入りやすい。各種ラーメンが好評で、「みそラーメン(850円)」のピリ辛スープを求めるリピーターが多い。

◎ 平川市金屋上松元78-12 ◎ TEL 0172-57-4700
◎ 営業時間 / 11:00 ~ 17:00 ◎ 定休日 / 木曜



津軽平野と岩木山、
絶景を眺めながら爽快にととのう！



湯ついで
癒されて

いい湯で体を温め、
土地の雰囲気と身体を包まれて。
巡って感じたい平川の湯つこ。



からんころん温泉

「からんころん温泉」では、半露天風呂とサウナを楽しめる「Le sauna (ルソーナ)」と「Grand (グラン)」の2室を完備。外気浴のロケーションも水風呂の温度も快適で、贅沢なサウナ時間を楽しんでみては。

● 平川市館山板橋19-1 ● TEL 0172-44-4210
● 営業時間／大浴場 5:00～22:00 貸切風呂 9:00～20:00 家族風呂 5:00～20:30 ● 入浴料／大浴場450円 貸切風呂90分3000円～ 家族風呂60分1540円～ ● 泉質／アルカリ性単純泉(低張性アルカリ性温泉)
MAP E1



あふれる湯を
全身で感じる

気軽に美肌の湯
清々しい1日を
津軽おのえ温泉 日帰り宿 福家



● 平川市新屋町道ノ下35-12 ● TEL 0172-55-0200 ● 営業時間／5:00～22:00(朝風呂は5:00～8:00) ● 入浴料／大人480円、朝風呂(5:00～8:00)300円 ● 定休日／不定休 ● 泉質／アルカリ性単純泉(低張性アルカリ性温泉)

朝早くから営業している日帰り湯。泉質は「美肌の湯」といわれるアルカリ性単純泉で、湯上り後の肌はしっとりとして滑らか。ぬる湯とあつ湯がある湯船や露天などを堪能したあとは、食事とマッサージで心も体もリフレッシュ。



甘い香り漂う
名物りんご風呂
青森のお宿 ホテルアップルランド

「苹果(ひょうか)の湯」では青森でも数少ない「りんご風呂」を楽しめる。りんご成分には保湿や血行促進といった効果があるので、お肌にも嬉しい。また「満天の湯」は源泉に近い、温泉濃度の高い湯を堪能できる。



● 平川市町居南田116-3 ● TEL 0172-44-3711 ● 宿泊料金／1泊2食付き15,950円～ ● 日帰り入浴時間／菓果の湯▶10:30～14:30(最終受付14:00)、満天の湯▶10:30～21:00(最終受付20:30) ● 日帰り入浴料／菓果の湯▶大人540円、満天の湯▶大人450円 ● 定休日／不定休 ● 泉質／ナトリウム塩化物泉

平川市の温泉施設

宿泊・日帰り温泉

- 尾上エリア ■
つがる温泉 TEL 0172-57-4511
- 平賀エリア ■
柏木温泉 TEL 0172-44-7600
大坊温泉 TEL 0172-44-3059
青森のお宿
ホテルアップルランド TEL 0172-44-3711
- 碓ヶ関エリア ■
羽州路の宿あいのり TEL 0172-49-5005
古遠部温泉 TEL 0172-46-2533

日帰り温泉

- 尾上エリア ■
さるか荘 TEL 0172-57-5316
津軽おのえ温泉
日帰り宿福家 TEL 0172-55-0200
大和温泉 TEL 0172-57-2852
- 平賀エリア ■
唐竹温泉 TEL 0172-44-3748
からんころん温泉 TEL 0172-44-4210
鷹の羽温泉 TEL 0172-44-4526

- 館田温泉 TEL 0172-44-8565
花の湯 TEL 0172-49-7311
平賀観光温泉 TEL 0172-44-8585
芦毛沢温泉 TEL 0172-44-0526
- 碓ヶ関エリア ■
碓ヶ関温泉会館 TEL 0172-45-2226
古懸コミュニティ浴場 TEL 0172-45-2300
道の駅いかりがせき
関の庄温泉 TEL 0172-46-9355

古遠部温泉

碓ヶ関エリアの山中にある褐色の温泉。毎分500リットルと湯量が豊富で、浴槽から溢れ出る温泉を寝そべて楽しむ「トド湯」の聖地としても知られている。その泉質とロケーションから全国の温泉ツウに愛されている秘湯だ。



● 平川市碓ヶ関西碓ヶ関山1-467 ● TEL 0172-46-2533 ● 営業時間／9:00～20:30
● 入浴料／400円 ● 泉質／ナトリウム・カルシウム塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉 MAP E2

体も心も潤う
平川湯巡り
少し車を走らせるだけで、温泉に出会える平川。昔ながらの温泉銭湯に、スパリゾート気分を味わえる人気の湯、りんごが浮かぶ青森らしき溢れる温泉などバリエーションは様々。それだけでなく、どの温泉も地域の人に普段から利用され、愛されているというのが平川の温泉の特徴だ。いい湯に浸ければ、地元気分を味わえること間違いなしだ。

平川 謎解きイベント

まちを歩いて、隠された謎を解く

謎を解きながら猿賀公園や盛美園を満喫できる体験型謎解きイベント。一人で解くもよし、家族で解くもよし。猿賀公園の謎解きは簡単なものから難しいものがあり、盛美園はストーリー性のある謎解きが用意されている。

プログラム1 謎解きは公園の中で 謎の池

●所要時間／1時間 ●料金／1,000円 ●催行期間／4月～11月

プログラム2 謎解きは公園の中で2 謎の桜

●所要時間／1時間 ●料金／1,000円 ●催行期間／4月～11月

プログラム3 謎解きは公園の中で3 謎の園

池・桜を超えたより難しい謎解きに挑戦！

●所要時間／2～4時間 ●料金／1,500円 ●催行期間／4月～11月

プログラム4 ナゾ解きプログラム

小さな園の大きな秘密

●所要時間／1時間 ●料金／1,000円※盛美園の入園料が別途必要
●催行期間／4月～11月

●問い合わせ／プログラム1～3／(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231 プログラム4／盛美園 TEL 0172-57-2020

猿賀公園をどこどん楽しむ体験メニュー

1 レンコン収穫体験

猿賀公園といえば鏡ヶ池を彩る蓮の花。その鏡ヶ池では4月～5月にかけてレンコンの収穫体験をすることができる。

●所要時間／1時間
●料金／1名 3,000円
●催行期間／5月上旬
●場所／猿賀公園内



2 さるかdeバーベキュー

自然豊かな猿賀公園で行うバーベキュー体験。手ぶらで気軽に、ご当地グルメ「平川サガリ」を堪能しよう。

●所要時間／2～3時間
●料金／1名 3,500円
●催行期間／6月頃
●場所／猿賀公園内



●問い合わせ／(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231 ※レンコン収穫体験、さるかdeバーベキューの開催日時等については要問合せ。人数により料金は変動あり。

農村生活体験 ファームステイ

田植え、リンゴや野菜の栽培・収穫など、その季節に合った農作業のほか、宿泊しながら郷土料理作りを体験。スローライフを満喫できるプログラムとして好評。

**株式会社
グリーンファーム農家蔵**

●平川市金屋中松元88-1
●TEL 0172-88-5039
●受入期間／通年
●体験日数／1～4泊
●体験料金／要問い合わせ・要相談



フルーツ収穫体験

おいしい農作物が栽培されている観光農園でフルーツの収穫体験。

広船観光りんご園

●平川市広船地区 ●TEL 090-8256-4037 (事務局・外川)
●体験期間／9月上旬～10月下旬
●体験時間／9:00～16:00
●入園料／要問い合わせ

あすなろブルーベリー農園

●平川市大坊竹原218-1 あすなろ理研 ●TEL 0172-44-1159
●体験期間／7月上旬～8月上旬
●体験時間／8:30～16:00 ●入園料／大人500円・子ども300円

兼春さくらんぼ園

●平川市沖館長田349-1 ●TEL 0172-44-7420
●体験期間／6月中旬～7月中旬 ●体験時間／9:00～16:00
●入園料／第一農園、第二農園：大人1,000円・子ども500円




平川に 体験する ハマる プラン

平川市のことをもっと知りたい。
発見や感動と出会い、
充実した平川時間を。

平川市 観光ガイドコース

コース1
盛美園 ～和洋折衷の不思議な世界～コース
本コースでは非公開の2階を見学できます。

●所要時間／1時間 ●料金／1名2,000円(入園料込) ※11名以上から割引あり
●催行人数／1名～ ●申込締切／希望日の5日前まで

コース2
猿賀神社～のどかな自然をゆったり散歩～コース

●所要時間／1時間 ●料金／1名1,500円 ※11名以上から割引あり
●催行人数／1名～ ●申込締切／希望日の5日前まで

コース3
みんなで盛美園コース(団体向けコース60分)

●所要時間／1時間 ●料金／1団体2,000円(入園料別途)
●催行人数／2～10名程度 ●申込締切／希望日の5日前まで
※10名以上の場合は要相談。※盛美館2階の案内は含まず。

●問い合わせ／(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231 (受付時間／平日9:00～16:00)

平川市観光
ガイドスタッフと
“まち”を歩く

観光客を温かくもてなし、地域の魅力を伝える観光ガイド。歴史や暮らしを聞き取りやすい津軽弁で案内してくれるのも魅力だ。コースは3本あるが、「盛美園(和洋折衷の不思議な世界)」は、普段非公開の盛美館2階にある空中楼閣を見学できる特別プラン。清藤家と盛美園の歴史も深く学べるコースである。

熊獅子と鹿獅子の競演 津軽最大級の例大祭

①② 多くの観客が見守る中、県内各地の伝統芸能保存会による獅子踊が、笛や太鼓のお囃子に合わせて披露される。

猿賀神社十五夜大祭

津軽を代表する
秋祭り

岩木山神社、高山稲荷神社とともに津軽三大神社に数えられる「猿賀神社」では、毎年旧暦8月14日・16日に津軽最大の例祭「十五夜大祭」が行われる。県無形民俗文化財「津軽神楽」が奉納されるほか、県下獅子踊大会や神輿渡御などが行われる。2日目にあたる十五夜には「観月祭」が挙行され、厳かな雰囲気

◆猿賀神社十五夜大祭

●開催日時／旧暦8月14日～16日

- ・1日目(待つ宵) 9:15～県下獅子踊大会、18:00～宵宮祭
- ・2日目(十五夜) 11:00～例祭、18:30～観月祭
※十五夜参りは随時
- ・3日目(十六夜) 11:00～神恩感謝祭

●会場／猿賀神社

●問い合わせ／猿賀神社 (TEL 0172-57-2016)

ひらかわイルミネーション プロムナード

「冬を幻想的に照らす
雪と光の共演」

平川の街を彩る冬の風物詩。台湾台中市と友好都市であることから平川市役所と平賀駅には台湾提灯が、中央公園は10万球のLEDに加え、友好親善都市である鹿児島県南九州市産の竹キャンドルが優しく灯る。普段の平川とは違う幻想的な世界が広がっている。

●問い合わせ／平川市商工観光課観光誘客係 (TEL 0172-55-5732)

平川市イベントカレンダー

4月下旬～5月上旬	平川さくらまつり(猿賀公園)	9月上旬	ひらかわフェスタ(楽天イーグルスひらかドーム)
5月下旬	農家蔵・農家庭園めぐり(金屋地区)	旧8月14日～16日	猿賀神社十五夜大祭(猿賀神社)
7月下旬	平川市蓮の花まつり(猿賀公園)	11月下旬～2月中旬	ひらかわイルミネーションプロムナード
8月2日・3日	平川ねぶたまつり(平賀駅前)	旧1月7日	猿賀神社七日堂大祭(猿賀神社)
8月14日	平川あどの祭り(平賀駅前)	1月下旬	農家蔵ライトアップ(金屋地区)

MATSURI&EVENT
祭り
イベント



ねぶた山車だけでなく、
太鼓台車にも注目。

心踊るねぶたまつりや
津軽最大の十五夜大祭など、
情緒のあるまつりのほか、
楽しいイベントも盛りだくさん。

道幅をいっぱいを使い、
観客をも蹴散らすような堂々たる
「世界一の扇ねぶた」の姿は圧巻。

平川ねぶたまつり

約25台のねぶたが平賀駅前を
練り歩き、多くの観客でにぎわう。

◆平川ねぶたまつり

- 開催日時／8月2日・3日 19:00～運行終了したい
- 会場／イオンタウン平賀～弘南鉄道平賀駅前
- 問い合わせ／平川市商工会 (TEL 0172-44-3055)

ねぶた展示館 MAP E5

- 平川市柏木町藤山16-1
- 開館時間／8:30～16:30 ○入館料／無料
- 休館日／6月中旬～7月中旬(ねぶた絵貼り替え期間)※天候により臨時休館あり



堂々たる行列
余韻を残す囃子

津軽地方の夏の風物詩といえ
ば、ねぶたまつり。平川市では「平
川ねぶたまつり」と「おのえ夏ま
つり」「平川あどのまつり」が開催
され、多くの観光客でにぎわう。

平川ねぶたまつりは、約25台の
扇ねぶたが出陣し、団体ごとに囃
子や掛け声などが異なるのが特
徴。パレードの最後尾を飾るのは、
高さ12メートルもある「世界一の扇
ねぶた」だ。水墨画調で描かれた
絵も珍しい。

中畑手焼きせんべい

昔ながらの技法を頑なに守り、1枚ずつていねいに焼かれるせんべい。甘めの生地に大粒の豆がぎっしりと詰まり、サクッとした食感と豆の香ばしさを楽しめる。定番のピーナッツのほか、カシューナッツなども。

中畑手焼きせんべい本舗

● TEL 0172-44-3570

● カシューナッツ(6枚入)740円、
くるみ(6枚入)740円



白ウラ

黒オモテ

平川ねぶたTシャツ

夏の一大イベント「平川ねぶたまつり」を盛り上げるために製作されているねぶたTシャツ。背面の武者絵は平川ねぶたまつりにゆかりのある、ねぶた絵師がデザインしたもの。アツい夏の思い出になる一枚だ。

一般社団法人平川市観光協会

● TEL 0172-40-2231

● カラー：黒、白

● サイズ：M～LL

● 料金：各サイズ3,000円



CRAZY CIDER

平川市を中心に県内のりんごを使ったハードサイダー。甘味を抑えた DRY は食中酒に最適。SWEET はりんごのすっきりとした甘味が特徴。りんごとカシスを贅沢に使用した Cassis flavor は爽やかな甘味と酸味のバランスが心地よい。津軽おのえ温泉福家の工場で製造しており、同温泉でも購入可能。お土産に、お風呂上がりの一杯にぜひ。

CRAZY CIDER 購入場所

TEL 0172-55-0200(津軽おのえ温泉福屋)

● 営業時間/5:00 ~ 22:00 ● 定休日/不定休(月に1日)

・ DRY (660円)、・ SWEET (660円)、・ Cassis flavor (770円)

オンラインショップ『CRAZY CIDER STORE』

● <https://crazy-cider.co.jp> ● TEL 0172-55-0201

りんごのリズム

平川市の特産・りんごをデザインした手ぬぐい。ふだん使いに限らず、ファッションシーンやインテリアのアイテムとしてもどうぞ。

久光社

● TEL 0172-57-5218

● りんごの響き850円、りんごの二重奏1,100円、
りんごの響きガーゼタオル1,100円

青森アップルパイの素



青森県産りんごを贅沢に使った「青森アップルパイの素」。国産バター、てんさい糖、有機レモン果汁、シナモンのみを使用し、添加物は不使用。地元の生産者のりんごを厚切りスライスし、水を加えずにじっくり煮込むこだわり製法。食パンに塗ってトーストするだけで焼き立てのアップルパイのような味と香りが楽しめる。

株式会社0172 ● TEL 0172-57-4783 ● 青森アップルパイの素1,100円

SOUVENIR
おみやげ

平川の魅力を
お持ち帰り

平川生まれのおいしいものやクラフト。
散策やグルメを楽しんだあとは、
かわいいおみやげ探し。

Kirakawa Railway Story

鉄道ファンにも 愛されるローカル線

弘前市と隣接する市町村を結ぶ「弘南鉄道」。大正15年(1926)設立と歴史は古く、弘南線と大鰐線が運行されている。2路線のうち平川市を通るのは弘南線で、沿線の風景が美しいローカル線として人気が高い。

弘前駅を出発した列車は、岩木山を背に走り、平川市内に入り、平賀駅を過ぎると車窓左手に雄大な岩木山が見えてくる。次の柏農高校前駅は赤色が印象的な駅舎だ。そのほかにも津軽尾上駅や館田駅など、沿線にはレトロで絵になる駅舎が点在する。

弘南鉄道では改装した車両で沿線の景色と生ビールを堪能できる「お座敷ビール列車」などのイベントも盛んだ。特別企画の「車両基地見学」では、全国でも弘南鉄道だけに残る修繕技術の見学や、昭和4年(1929)製国内最古の現役ラッセル車などのレトロ車両を間近で見ることができ、全国の鉄道ファンを喜ばせている。

春夏秋冬、いつ乗っても津軽平野の豊かさを感じさせてくれるローカル線に揺られてみては。



車窓からの眺めも抜群「弘南鉄道弘南線」



1 柏農高校前駅は岩木山を背景に撮影できるスポット。2 リンゴ畑の中を走る弘南鉄道。3 雪をかき分け走る除雪用ラッセル車。4 2023年にお座敷列車としてリニューアルした「津軽『時巡』号」。5 「津軽『時巡』号」の車内。沿線の観光コンテンツと組み合わせた列車として運行している。6 「焼きばめ」という昔ながらの技術で車輪を整備。7 弘南鉄道のイメージキャラクター「ラッセル君」。

弘南鉄道 ● 平川市本町北柳田23-5 ● TEL 0172-44-3136

